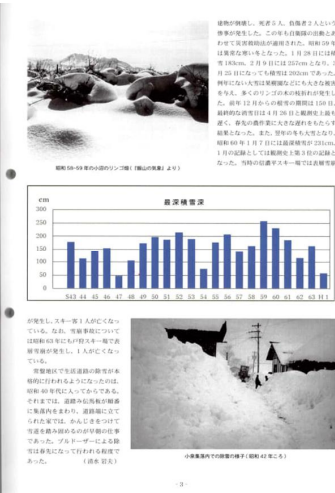
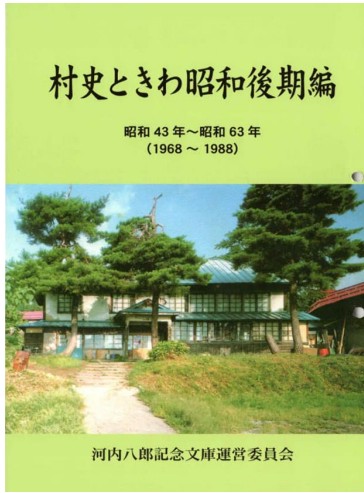


令和7年度 飯山市里山の未来づくり支援金事業総括書

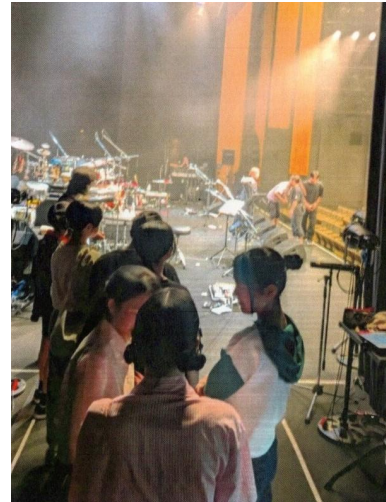
【1】

事業名	村史ときわ昭和後期編発刊事業
事業主体	村史ときわ編集委員会（委員長 常盤井 智行）
重点テーマ	非該当
総事業費	1,300,000円（うち支援金：500,000円）
事業内容	事業効果
まだ発刊されていなかった村史ときわの昭和43年から昭和63年までの21年間の出来事をまとめ、冊子を発刊する。	常盤地区全戸（725戸）及び小中学校や集落公民館等への配布により、常盤地区の昭和後期のあゆみを振り返り後世に引き継ぐことができた。



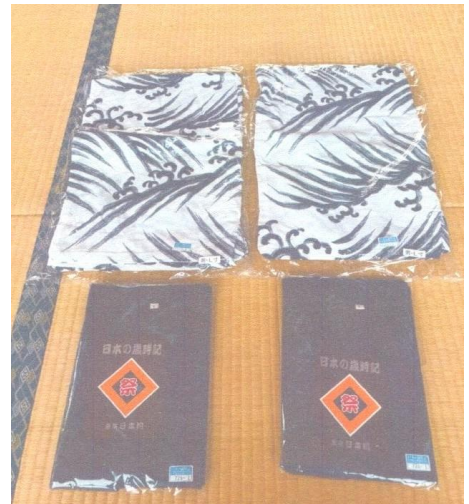
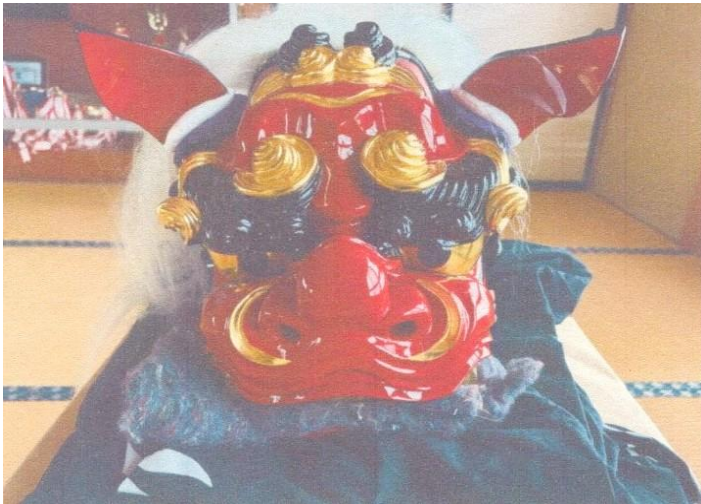
【2】

事業名	信州いいやまノーナ・フェス事業
事業主体	信州いいやまノーナ・フェス実行委員会（代表 市ノ瀬 広明）
重点テーマ	該当
総事業費	5,607,494円（うち支援金：980,000円）
事業内容	事業効果
飯山市出身で日本のジャズミュージックシーンで活躍を続ける小松シゲル氏等が集う音楽イベントやバックステージツアー等を開催。併せて地元特産品や食の出店を実施。	県内外から訪れた参加者に地域の特産品や食を体験してもらい地域の魅力を発信することができた。バックステージツアーでは中高生がプロ奏者の舞台裏や演奏に触れることができた。



【3】

事業名	こども獅子立ち上げ事業
事業主体	上新田伊勢連（代表 小池 一嘉）
重点テーマ	非該当
総事業費	690,800円（うち支援金：482,000円）
事業内容	事業効果
区で伝承されている獅子舞を地域の子どもたちと協働して行うことで、地域内の絆を深め、地域への愛着や誇りを高め、将来この地に残ってもらえるよう、子ども用獅子頭及び衣装の購入を行う。	こども獅子の立ち上げができ、この地区の伝統を末永く継承していくための環境を作ることができた。



【4】

事業名	みゆき野歌謡フェスティバル事業
事業主体	みゆき野歌謡フェスティバル実行委員会（会長 大野 英昭）
重点テーマ	非該当
総事業費	287,253円（うち支援金：34,000円）
事業内容	事業効果
カラオケを通じ、地域を越えた交流をすることで地域の活性化を促す事を目的に、プロ音響を呼びカラオケ発表会を開催する。	プロ歌手を始め約100組の参加者があり、観覧者も150名程度あり、地域を越えた交流と地域の活性化を図ることができた。



【5】

事業名	天神堂区の多目的グラウンドの地面陥没補修及び景観復帰（花植付）事業
事業主体	天神堂区（区長 佐藤 正文）
重点テーマ	非該当
総事業費	800,000円（うち支援金：500,000円）
事業内容	事業効果
区民みんなの多目的グラウンドとして利用されている広場の一部が用水路上にあり、用水路部分の地面が陥没しており人が落下する危険性があるため、補修工事を行うとともに、景観形成のために地域の方が育てた花を移植する。	区民が安心して使用できる多目的グラウンドに改修することができた。



【6】

事業名	斑尾人を知る、人と人つながる広げる町づくり事業
事業主体	飯山市斑尾区イベント実行委員会（実行委員長 スタンキー 真由子）
重点テーマ	該当
総事業費	249,600円（うち支援金：199,000円）
事業内容	事業効果
斑尾区民が「お互いを知る機会」と、「継続できる住民の繋がり」の創出としてピックルボールの斑尾チームを発足させ、地域の活性化につなげるため、道具の購入と周知のためピックルボールのチャンピオンを招いたイベントを開催する。	ピックルボールの斑尾チームが発足し、地域住民の繋がりを形成することができた。 イベントには区民のほか観光客等の参加も多くあった。今後斑尾のグリーン期の集客やピックルボールゲーム開催の場として広げていく。



PICKLE BALL

New sport booming Pickle ball from USA

テニス、卓球、バドミントンの要素をかけたあわせただでも楽しめるスポーツ

体験会開催参加無料

元全米チャンピオン
ダニエル、ムーアが斑尾にやってくる！

10/12(日)

まだらお山の祭ひろば
11:00～ピックルボール体験会
12:00～ダニエルさんのゲーム
デモンストレーション

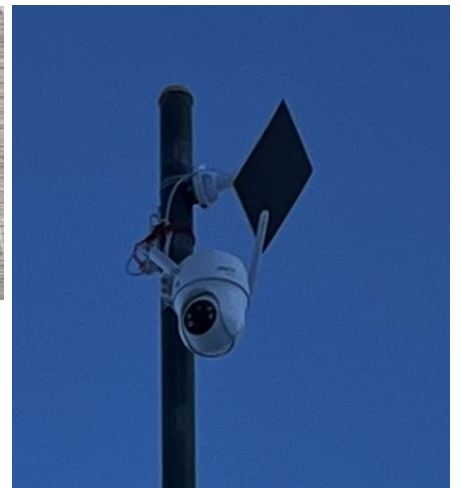
【7】

事業名	福島地区水車小屋施設の改修事業
事業主体	福島地区施設管理委員会（委員長 丸山 富治）
重点テーマ	該当
総事業費	986,657円（うち支援金：789,000円）
事業内容	事業効果
水車小屋の改修により景観形成を図り、耕作放棄地へのそば耕作を促進及び水車小屋の石臼びきのそばによる飲食イベントを開催し、地域の活性化につなげていく。	地区の入口にある水車小屋の復活により、来訪者への見所として、また、おいしいと評判の水車小屋の石臼びきそば（さんべそば）をより普及させ、地域産業に活かすことができる。



【8】

事業名	鍋倉山周辺でのオーバーツーリズム対策事業
事業主体	BC鍋倉フィールド（代表 高橋 玉樹）
重点テーマ	該当
総事業費	289,386円（うち支援金：231,000円）
事業内容	事業効果
オーバーツーリズムにより鍋倉山入山口において路上駐車等の問題が発生しているため、周知啓発のためのホームページ公開、混雑状況等が把握できるカメラ設置、啓発看板の設置及び温泉集落の活性化支援体制を整える。	ホームページでの周知啓発により入山者のモラル向上、安全行動に貢献した。また、集落、行政、入山者を繋ぐ役割を担い、オーバーツーリズムの問題が改善している。



【9】

事業名	『Ume～そば家』の新築事業	
事業主体	Ume～そば喰楽歩（代表 小林 恵一）	
重点テーマ	該当	
総事業費	1,018,000円（うち支援金：426,000円）	
	事業内容	事業効果
	<p>菜の花公園周辺の荒廃農地や連作障害防止のためにそばを栽培し、菜の花まつりを盛り上げるために簡易建物を建て「Ume～そば家」を開店しているが、会員の高齢化により簡易建物の建築解体等の負担を軽減させるためテント等を購入する。</p>	<p>簡易建物の建築解体に係る時間を店舗の開店日に当てることのできるため、菜の花まつりをさらに盛り上げ、農業の6次化を進める足がかりとなる。また、地元産のおいしいそば、山菜をお客さんに知ってもらえることができる。</p>

